



平成 22 年 11 月 12 日

各 位

会 社 名 旭 テ ッ ク 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 執 行 役 社 長 入 交 昭 一 郎
 (コード : 5606 東証第 1 部)
 問 合 せ 先 経 理 部 長 古 橋 恵 介
 (TEL. 0537-36-3103)

業績予想との差異及び業績予想の修正並びに特別損失の計上に関するお知らせ

平成 22 年 8 月 6 日に公表しました平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想と、本日公表しました第 2 四半期累計期間実績において、下記の差異が発生しましたこと、及び最近の業績動向を踏まえ、平成 22 年 5 月 20 日に公表しました平成 23 年 3 月期通期業績予想を下記の通り修正すること、並びに平成 23 年 3 月期第 3 四半期及び第 4 四半期における特別損失の計上予定について、お知らせいたします。

記

1. 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 37,900	百万円 1,300	百万円 800	百万円 200	円 銭 0.09
実績 (B)	38,071	1,403	1,016	488	0.69
増減額 (B - A)	171	103	216	288	
増減率 (%)	0.5	7.9	27.0	144.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	23,483	△2,173	△2,459	△2,578	△6.23

(2) 個別業績予想との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 16,100	百万円 800	百万円 600	百万円 300	円 銭 0.26
実績 (B)	16,242	1,030	852	768	1.16
増減額 (B - A)	142	230	252	468	
増減率 (%)	0.9	28.8	42.0	156.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 22 年 3 月期第 2 四半期)	11,205	△227	△477	△576	△1.65

2. 平成23年3月期通期業績予想数値の修正（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

(1) 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 67,200	百万円 2,000	百万円 1,600	百万円 550	円 銭 0.48
今回修正予想（B）	74,000	2,350	1,650	50	△0.16
増減額（B－A）	6,800	350	50	△500	
増減率（％）	10.1	17.5	3.1	△90.9	
（ご参考）前期実績 （平成22年3月期）	58,241	121	△392	△421	△1.63

(2) 個別業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 29,000	百万円 700	百万円 150	百万円 △400	円 銭 △1.60
今回修正予想（B）	32,000	1,300	950	300	0.37
増減額（B－A）	3,000	600	800	700	
増減率（％）	10.3	85.7	533.3	-	
（ご参考）前期実績 （平成22年3月期）	26,014	1,034	499	179	△0.25

3. 修正の理由

(1) 第2四半期累計期間業績予想との差異の理由

機器装置事業の需要増加や販売価格の是正、及び原材料価格の低下により営業利益、経常利益は前回発表予想を上回りました。連結の四半期純利益は、経常利益の増加に加えて、連結納税グループから離脱予定の子会社において繰延税金資産を計上する一方、同社に対する法人税の支払が不要となったことにより前回発表予想を上回りました。

個別の四半期純利益は、連結子会社の業績好調により連結納税グループ内の子会社からの法人税受取額が増加したことにより前回発表予想を上回りました。

(2) 通期業績予想の修正理由及び特別損失の計上

平成22年8月6日に第2四半期累計期間業績予想を修正しましたが、第3四半期以降の見通しが不透明なため連結・個別とも通期業績予想修正を見送っていました。今回通期業績予想の見直しをしましたので、修正いたします。

平成22年10月19日に発表しましたとおり、当社は連結子会社旭テック環境ソリューション(株)の株式全部を平成22年11月19日に譲渡することを予定しています。これに伴って、当第3四半期連結会計期間以降の同社の業績が連結財務諸表から除外されることにより売上高、利益が減少する要因となりますが、一方で第2四半期累計期間ほどの増加はないものの、引き続き国内のトラック・産業建機部品の輸出需要が見込まれ、またタイにおいても自動車需要が当初計画を上回ることにより、売上高、営業利益及び個別の経常利益は当初予想数値を上回る見込みです。

連結の当期純利益は、子会社売却損 366 百万円、及び今後予定しているリファイナンスに伴う一時費用を特別損失として計上する予定であることから当初計画を下回る予定です。また、個別の当期純利益

は子会社株式売却損 185 百万円及びリファイナンスに伴う一時費用を特別損失として計上する予定であります。経常利益の増加により当初計画を上回る予定です。

なお、旭テック環境ソリューション(株)の譲渡による資金約 20 億円は借入金の返済に充当しますが、借入金の返済による支払利息の減少、素形材事業へ経営リソースを集中させることにより見込まれる資金は、新興国における事業への成長投資に充てる予定です。

(注) 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる場合があります。

以 上